

## 東京弁護士会・UIA (Union Internationale des Avocats) 共催セミナーを終えて

国際委員会委員 広瀬 元康 (58期)

### 1 はじめに

去る2015年7月6日(月)に、国際法曹団体であるUIA(世界弁護士連合会、原語ではUnion Internationale des Avocats)と東京弁護士会の共催により、弁護士会館2階講堂クレオにて「危機的状況下の企業の防衛」をテーマとするセミナーが行われた。UIAが日本でイベントを行うのは今回が2回目である。昨年の同時期に「海外腐敗行為防止法の国際比較と課題」をテーマに開かれた東弁・UIA共催セミナーが国内外より高い評価を得たため、本年も第2回のセミナーを行う運びになったものである。さらに、当会は、今年より法人会員としてUIAに加盟している。

今年は、UIAからの外国人参加者も増え、遠くアフリカのアビジャン(コートジボアール)やキンシャサ(コンゴ民主共和国)からの来訪者もあった。当日は生憎の雨天であったものの、午前10時から午後4時までの昼食休憩を挟んだ終日セミナーには51名、それに続いて日比谷公園内の松本楼で行われた立食パーティには37名がそれぞれ参加し、盛況となった。

本セミナーの講師を務めたのは、UIAに所属し、上記分野に造詣の深い外国人スピーカーのほか、関連分野で豊富な実務経験を積んだ当会会員らであった。

### 2 本セミナー当日

昨年と同様に、セミナー開始に先立ち、UIA外国人スピーカーらが当会理事者を表敬訪問した。UIA前会長のStephen L. Dreyfuss 弁護士(米国)を中心として、2年連続でUIAが日本にて当会と共催イベントを開催するに至



左から、Jim Robinson 弁護士、武藤佳昭会員(登壇者)、Stephen L. Dreyfuss 弁護士、早川吉尚会員

ったことや、当会のUIAへの加盟に対する謝辞を述べた。これに続き、日本における若干の法律問題(知的財産権の保護、裁判制度をめぐる問題等)や、日本の法曹界とUIAの今後の協力のあり方等について忌憚ない意見交換が行われた。

本セミナーでは、Stephen L. Dreyfuss 弁護士と当会国際委員会委員長の石黒美幸会員がそれぞれ開会の辞を述べた。これに引き続き、各パネルについてUIAと当会からスピーカーがそれぞれ1名ずつ(但し、第4パネルのみは、コメントを交えた変則的な形態で進められた)、後述する一定のテーマについて、各自の法域、視点から発表を行った。いずれのパネルも、異なる国・地域を拠点に渉外業務を行う各国の弁護士らが、自らの長年にわたる実務経験や日頃の問題意識を踏まえて、多様な切り口から具体例を交えながら解説するものであった。

そこでは、グローバルな事業環境において国を越えて生じる企業の不祥事対応の場面では、所変われば品変わると

はよく言ったもので、自国の常識が他国で起きた問題の処理には通用しない場面もあることを実感させられた。当然のことであるが、国が異なれば、法令や裁判制度が異なる以上、同じ不祥事に対して企業が負う法的責任の有無や程度が異なる。他方で、そのような「法」の問題にとどまらず、むしろマスコミ等の社会的圧力を当事者となった企業側がどうコントロールするかが「法」以上に重大な影響を生じ、ひいては「法」に基づく訴訟等の帰趨も左右するということでもある。

各パネルに続いて、スピーカーのみでなく、フロアの参加者も交えて活発な質疑応答、議論が行われた。

### 3 本セミナーのテーマと登壇者紹介

#### 第1パネル：ビジネスパートナーによる腐敗行為を防止するための仕組みについて

モデレーター：石黒 美幸 会員（長島・大野・常松法律事務所）  
Steven F. Molo 弁護士（UIA, MoloLamken LLP（米国））

スピーカー：村上 康聡 会員（太陽コスモ法律事務所）  
Justin v. Shur 弁護士（UIA, MoloLamken LLP（米国））

#### 第2パネル：事故、違法行為等の企業不祥事が発生した場合のリスク軽減策について

モデレーター：石黒 美幸 会員（長島・大野・常松法律事務所）  
Winfried F. Schmitz 弁護士（UIA, Schmitz Law Offices（米国））

スピーカー：水野 海峰 会員（弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所）  
Daniele de Benedetti 弁護士（UIA, Studio Legale Associato D&M Legal（イタリア））

#### 第3パネル：危機的状況下における企業の財産保護について

モデレーター：早川 吉尚 会員（弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所）  
Stephen L. Dreyfuss 弁護士（UIA 前会長）  
スピーカー：武藤 佳昭 会員（ペーカー&マッケンジー法律事務所）

Jim Robinson 弁護士（UIA, Best Hooper Lawyers（オーストラリア））

#### 第4パネル：企業不祥事の際のメディア対応について

モデレーター：早川 吉尚 会員（弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所）  
スピーカー：Michael Mueller 外国特別会員（ミュラー外国法事務弁護士事務所（ドイツ・日本））

コメンター：Steven F. Molo 弁護士（UIA, MoloLamken LLP（米国））

Winfried F. Schmitz 弁護士（UIA, Schmitz Law Offices（米国））

### 4 懇親会

その後は松本楼で懇親会が行われ、UIA外国人スピーカーやその他のセミナー来訪者のほか、昨年以上に多数の日本人弁護士が参加した。UIA参加者の方々はほとんどが懇親会にもご参加くださり、国内外の弁護士が抱える国際法務の課題や、将来における日本の法曹界の国際交流のあり方等について、日本の弁護士らとUIAの方々がざっくばらんに歓談する機会が得られた。ここでは、セミナーで講師を務めてくださったUIA外国人スピーカーらに加え、当会の渡辺彰敏副会長、日弁連の三宅弘副会長のほか、UIAの日本人シニアメンバーの方々等にも各々ご挨拶を賜った。

### 5 UIA との交流について

今後とも、IBA と並ぶ国際法曹団体であるUIAが日本で活動を広げて知名度を増し、日本でもより多くの弁護士が積極的にUIAに参加することを願ってやまない。今回の第2回東京イベントがその足掛かりとなれば幸いである。

また、UIAでは毎年秋に世界各地で年次大会を行っており、今年は10月28日（水）から11月1日（日）にかけて、スペインのバレンシアにて第59回年次大会が開催される。同大会では、当会からも複数の会員がスピーカーとして登壇する予定である。